

特別委員会の最終・中間報告(要旨)

今臨時会で、観光振興調査特別委員会、公共施設更新・再配置調査特別委員会及び温暖化対策調査特別委員会は、調査を終了し最終報告を行いました。また、交通網・都市基盤整備調査特別委員会が中間報告を行いました。

観光振興調査特別委員会

本特別委員会は「地域資源の活用」「観光基盤の整備」等の調査研究を進めてきました。

地域資源の活用について

既存の観光資源やイベントであっても、歴史・文化スポットへのサイン設置等、付加的な要素を融合させることにより、話題性や魅力を向上させた事業へと発展する可能性があるため、より一層の創意工夫を重ね展開していくことが重要です。

観光基盤の整備について

舎人公園については、区民の意向を十分に反映させた公園の活用計画策定をもとに、都へ整備等を強く働きかけていく必要があります。

西新井大師については、地域との連携を図りながら、観光ま



ちづくりの視点に配慮した施策の推進が必要です。

また、今春に実施した「花めぐりバス」の充実化や、レンタサイクルの積極的活用等、各観光資源を結ぶ交通網の充実も必要不可欠です。

観光施策について

区では「足立区観光基本計画」の改定が検討されています。本特別委員会での意見・要望を十分に踏まえながら、より実効性のある計画策定が重要です。

最後に、誰もが訪れてみたくなる、魅力に溢れた足立区に発展していくことを強く願い、本特別委員会の報告とします。

公共施設更新・再配置調査特別委員会

本特別委員会は「公共財産の有効活用」「公共施設の更新」「公共施設の再配置」「公共施設の機能」に関して調査研究を進めてきました。

公共施設・再配置計画について
区民サービスが低下しないよう施設の有効活用や用途の見直しを行い、施設とそこで提供されるサービスの在り方を再構築するという発想で、計画的に進めることが重要です。

公共施設の機能について

従来のエリア配置型から、利用者中心の利用圏配置型への転換が求められます。

また、交通網の利便性向上による区民の活動領域の広がりに合わせ、「日常利用施設」と「広

域利用施設」への再編という新たな施設配置計画の在り方も検証を進める必要があります。



公共財産の活用について

従来の施設機能を見直し、他施設との機能集約・再編が必要となるため、需要動向や地域特性、区民の意見等を加味し、国や都、民間の施設も視野に入れ、検討を進める必要があります。

公共施設の維持管理について

アセットマネジメントシステムを中心とした仕組みを構築し、リファイン工法等の新たな手法を駆使する等、改築コストの圧縮や維持管理計画の策定に努めることが重要です。

最後に、社会・経済情勢の変化や財政状況を踏まえ、計画的な公共施設更新・再配置の方針策定に取り組みられることを求めて本特別委員会の報告とします。

温暖化対策調査特別委員会

本特別委員会は「CO₂削減」「温暖化防止に向けた区民との協働施策」「公共施設の温暖化対策」「区民への啓発活動」に関する調査研究を行いました。

公共施設の温暖化対策について
小・中学校等一斉に更新期を

迎える施設の改築や大規模改修の機会に、様々な温暖化対策が実施されることを期待します。

また区は、先導的に温室効果ガス排出量の削減に努め、民間施設の手法となり、環境対策の積極的導入を促していかなければなりません。

区民への啓発活動について

広報紙等の活用や、環境関連イベントを中心に啓発事業を行うっており、協働の輪を広げるためにも、積極的な情報発信を行い、ともに取り組みを進める仕

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

成し、協働の場を提供していくために、「あだち3Rフェア」等の協働事業や「あだちエコネット事業」の効果的な活用、教育関連施設への温暖化対策設備の導入やグリーンスクール化、新技術の積極的な導入、省エネルギー機器設置費用の助成制度の充実等に期待します。

足立区が地球温暖化防止における先進自治体として、「日本一地球にやさしいひとのまち」を築き上げていくことを要望し、本特別委員会の報告とします。

交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関して調査研究を進めてきました。

区内鉄道路線の高架化について
住民・国・都・鉄道事業者との連携により、高架化早期実現への取り組みを一層強化し、竹ノ塚駅周辺地区まちづくりを計画的に進める必要があります。

バス路線網再編及びコミュニティバスの整備促進について
より利便性の高いバス路線網の整備と交通不便地域の解消に向け、バス事業者へ積極的かつ継続的な働きかけを行わなければなりません。

都市基盤整備の促進について
三菱ウエルファーマ跡地への大規模小売店舗進出計画に関し、都市再生機構及び大和ハウス株式会社へ、要請活動を行いました。その結果、地域経済への影響を最小限とする方向での合意がなされましたが、今後も動向を注視する必要があります。

北千住駅東口の住宅市街地総



合整備事業では、住民、関係機関との十分な協議のもと、区が主体的、先導的な役割を果たすことが求められています。

駅前では、東京電機大学の進出等により、賑わいのあるまちづくりが期待されています。住民・関係機関との意見交換等を通じ、大学と十分な調整を図ることが重要です。

鉄道及びバス路線網の誘致・拡充、竹ノ塚駅鉄道高架化の早期実現に向けた活動を推進しつつ、都市基盤の整備・充実に向けて、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

北朝鮮の核実験に対し、**厳重に抗議する決議(要旨)**

今臨時会で可決された決議は次のとおりです。
度重なる核実験は、追加的な核実験を禁止した国際連合安全保障理事会決議第1718号や六者会合共同声明に明確に違反しており、国際的な核拡散防止体制に対する重大な挑戦である。世界の安全を脅かすこの暴挙は、断じて容認できるものではなく、強い憤りの念を禁じ得ない。

よって足立区議会は、北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議するとともに、北朝鮮が、六者会合に早期・無条件に復帰し、全ての核兵器及び核計画の放棄と、

ミサイル、拉致などの問題解決にも誠実に対応するよう強く求めるものである。
以上、決議する。

足立区議会

各派の役員紹介

足立区議会自由民主党

- 幹事長 吉岡 茂
- 副幹事長 馬場 信男
- 同 ほっち 易隆

足立区議会公明党

- 幹事長 前野 和男
- 副幹事長 たきがみ 明
- 同 たがた 直昭
- 同 長井まさのり

日本共産党足立区議団

- 団 長 鈴木けんいち
- 幹事長 ぬかが 和子
- 副幹事長 大島 芳江
- 同 伊藤 和彦

足立区議会民主党

- 幹事長 秋山ひでとし
- 副幹事長 工藤 哲也
- 同 おぐら 修平

編集後記

5月29日の臨時会では、議長・副議長の改選をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。

また、各党派役員の変更もあり、これに伴い、広報委員会も新たな委員になりました。現在の広報委員は、次のとおりです。

- (議) 長 鴨下 稔
- (副) 議 長 きじまてるい
- (議会運営委員長) 吉岡 茂
- 馬場 信男 鈴木けんいち
- ほっち 易隆 ぬかが 和子
- 前野 和男 伊藤 和彦
- たきがみ 明 秋山ひでとし
- たがた 直昭 工藤 哲也